

行政区長懇談会（佐比内会場）要約版

令和5年7月10日

1 開会

2 町長挨拶（要約）

行政区長の皆様には、本日のご出席並びに日頃より刊行物の配布についてご協力をいただき、御礼を申し上げます。

各地区において住民から色々な相談や事案を持ち込まれていると思うが、その点も含めて忌憚のないご意見をよろしくお願ひしたい。

3 町からの情報提供

- ・行政区長の委嘱について
- ・各種推薦の依頼について
- ・まちづくり計画アンケートの実施（まちづくり座談会資料3ページ、都市計画課より）
- ・防災マップの訂正（まちづくり座談会資料12ページ、消防防災課より）

4 懇談

<行政区長>

町道平栗線について、道路が狭くて河川からの立木が道路にはみ出してきている状況なので、改善をお願いしたい。

（齊藤土木課長）

民有地であった場合は、所有者へ連絡して処理をしていただくことになる。河川の土手であった場合は、町の方で伐採することになるので、後ほど詳しい場所を教えてください。

<行政区長>

①少子高齢化の影響で小学校がなくなり、最近では保育所の跡地を消防屯所の建設場所や公民館の移転予定地にするような話が聞こえてきており、今後保育所もなくなってしまうのではないかと不安に感じている。

②鳥獣被害が年々増えており、町の対策が追い付いていないように感じる。

（熊谷消防防災課長）

①消防団員の確保が年々難しくなっていることを地元の団員から相談を受け、分団再編も検討時期だが、消防車の台数を維持しながら、消防団活動をしやすいように消防屯所を統合してはどうかという話になった。その際、「保育所周辺の小学校を含めた

公共用地で候補になる場所はあるか。」という話題になったものである。保育所がなくなるという話ではないのでご理解いただきたい。

(阿部教育部長)

①先日の公民館移転検討委員会において、現在の公民館の場所が土砂災害や河川増水の影響で浸水する可能性が高いため、旧佐比内小学校のグラウンド付近に移設してはどうかという、意見が出たというもの。どのような方向性で進めていくかはこれから検討に入るところであることをご理解いただきたい。

保育所については来年も引き続き入所募集を行う予定であり、現状のまま運営する方向で考えている。

(長谷川産業部長)

②町の対策としては、鳥獣被害対策協議会の予算を昨年度の約3倍の予算を確保しており、電気柵や地域の活動への支援を強化したいと考えている。最近では地域住民で捕獲サポート隊を結成し成果を上げているところである。今後は専門家の意見を踏まえて対策を講じることを考えているので、様々ご相談いただきたい。

<行政区長>

鳥獣対策について、河東において年間どれぐらいの頭数が駆除されているか。

また、近所では夜になると鹿が集まってくる場所があるが、駆除作業をしているところを見掛けたことがない。普段はどのような形で作業を実施しているのか。

(長谷川産業部長)

河東の駆除数は持ち合わせていないが、紫波全体で昨年は89頭が駆除されている。方法としては、地区住民から集まる場所の情報を聞いて罠を設置するというのが主である。特に地域住民で結成した捕獲サポート隊の方が、ご発言のように鹿が集まる場所を把握している場合が多いため、より効果的な捕獲ができている場合もある。

後ほど個別にご相談いただきたい。

5 町長総括

何点かご発言いただいたが、基本的には各担当が回答したとおりである。

河川の土手からはみ出した樹木については、行政の責任で伐採させていただくが、最近では空き家や空き地から樹木がはみ出しているという相談を受けることが多い。原則はその場所の所有者が責任をもって管理する者であることをご理解いただきたい。

保育所については、最近は共働きの世帯が多く、延長保育の体制を整える必要があるため、一定の規模がないと運営が難しくなっている現状があるが、佐比内保育所については引き続き来年も入所募集を行う予定としている。

有害鳥獣の被害についても、町内全体で特に鹿とイノシシの被害が拡大していることを理解しているため、今後猟友会と地域のサポート隊の活動強化を図ってまいりたい。

防災組織については、地域の災害の傾向を見ながら今後の体系を考えてまいりたい。
本日は様々ご意見をいただいたことに感謝申し上げます。